

令和 7 年度 【五色精光園成人寮】 地域連携推進会議 議事録

事業所名：五色精光園成人寮

開催日時：令和 7 年 11 月 11 日 11:30～11:50(施設見学) 14:00～14:30 (会議)

開催場所：五色精光園成人寮地域交流ホール

出席者：利用者代表、保護者代表、地域関係者、協議会推薦者、市町村担当
施設職員 参加者 計 15 名

会議次第

- 1 施設見学・食事体験
- 2 園長あいさつ
- 3 自己紹介
- 4 施設概要説明
- 5 質疑応答

【意見交換】

ご利用者代表

- ・ポイントがたまったら、新しい車のカタログが欲しい。日産ルークスと日産ノートのカタログが欲しい。そして、ポイントカードが欲しい。

保護者代表

- ・いつもお世話になっています。大変だった子どもが落ち着いてきている。こんな時期が来るなんて。先日、久しぶりに園祭が開催されて楽しかったし、嬉しかった。ありがとうございます。

昼食を摂ってみての感想

- ・美味しかった。食材、品目が多かった。工夫されていることがよく分かる。人によっては量が多かった。バランスが良かった。

【質疑応答】

Q：食事場面では嚥下が怖い工夫されているのか？施設では噛まない、飲み込まない利用者が居るが、どう対応しているか？（協議会推薦者）

A：刻み、極刻み、とろみ、お粥など利用者に合った食事形態をカスタマイズしている。管理栄養士、医務と調整をしている。

Q：食事メニューを見たが、パンがないのはなぜか？（保護者会代表）

A：以前、朝食時にパンを提供していたが、喉詰り事故が発生し、朝食のパン提供は中止している。しかし、毎月 1 回のあゆみパンや、日曜日の移動パンでパンを購入するなど、日中に提供する時間を設けている。

Q：意思決定支援について。言葉や意思決定が難しいご利用者に対してはどのように確認をしているのか？（市町村担当者）

A：生育歴、これまでの記録を確認したり、外出に行ったときの表情を確認したり、保護者や支援者に本人の情報を聞いて判断している。また半年に一回のモニタリング会議のときに資料を作り、地域移行や施設での生活について意思の確認や振り返りを行っている。

Q：事故ヒヤリハット報告について。数値を見ると、ヒヤリハットが事故報告よりも多くないといけないはずであるが、事故報告がヒヤリハットよりも多くなり逆になっている。現場でヒヤリハットを上げにくいことになっていることに対して、対策は何か考えておられるか。（協議会推薦者）

A：今までの様式では提出しにくくなっていることを考えて、書きやすい様式にする取り組みをしている。パソコンでないと打ち込みにくい人でも手書きで書きやすい様式を試しているところである。

・ヒヤリハットが少ないのは、忙しくてかけていないのか、本当にヒヤリハットとして認識できていないのかは、どちらかわからない。そこで、紙面で書くことにこだわらず、現場の風通しを良くして、話しやすい雰囲気を作り、ヒヤリハットを意識していく必要があると思う。

Q：BCPには社協との連携について書いてあるが、民生委員との連携について書いてないのが気になる。（地域関係者）

A：今後見直しの時期に社協との連携だけでなく、民生委員との連携についても明記する。